

■ OS、ドライバーをインストールする

PCハードウェアの初期化やOSの起動を担当するUEFI(BIOS)の起動と設定。そしてWindows 11の導入、各種ドライバーの導入を行っていこう。

21. UEFI(BIOS)の設定

21-1 UEFI(BIOS)を起動する

UEFI(BIOS)を起動する

→マザーボードのロゴが表示されている間に、「Del」または、「F2」キーを押そう。起動後は「F6」キーを押し、設定を簡単に行える「Easy Mode」に切り替える。



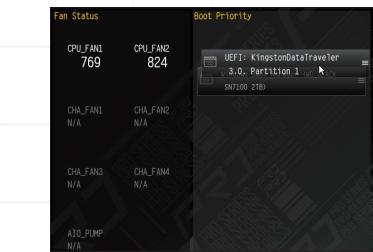
21-2 メモリ動作を設定する

メモリ動作を設定する



→「DRAM Information」の「Profile」で、メモリプロファイルを読み出す。AMDに最適化されたAMD EXPO対応メモリもある。

21-3 日時や起動順を設定する



→画面右上の時間を押すことで日時を設定。右下の「Boot Priority」からは、起動するデバイスの順番を入れ替えできる。



メモリを手動で設定する

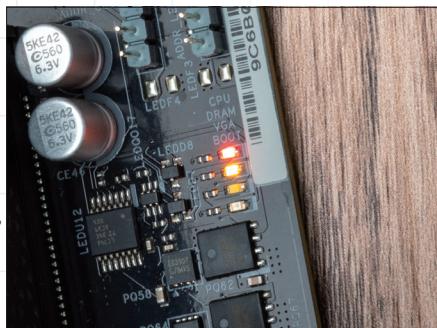


→Ryzen CPUの定格を上回る高速メモリは、CPUの個体差で安定動作しないこともある。その際はクロック設定(DRAM Frequency)を、DDR5-5600などに変更しよう。

CHECK! UEFI(BIOS)が起動しない、おかしいところはどこ?

エラー発生箇所をLEDで表示

→ASRock「Post Status Checker」など、マザーボードには、起動時の進行状況、エラー発生箇所を示すLEDが備わっている。起動しない際は、まずはここを確認しよう。



電源コネクタの挿し忘れを確認



→電源コネクタの接続も確認しよう。忘れがちのが、CPU8(4+4)ピンコネクタとビデオカードの補助電源だ。

CPU CPUソケットピンの折れ/曲げ、CPU8ピン電源の挿し忘れ、CPU不良

DRAM メモリの挿し込み不足、メモリ取り付け位置の間違い、メモリ不良、

VGA ビデオカード挿し込み不足、補助電源の接続忘れ、ビデオカードの不良

BOOT ブートデバイスとなるストレージの接続ミスなど

再確認してみよう

- PCケースフロントスイッチとマザーボードの接続を確認
- 電源ユニットのスイッチが「I」の位置か確認
- ディスプレーの電源が入っているか確認
- ビデオカードの映像出力端子とディスプレーの接続を確認する
- ディスプレーで選択した入力端子とビデオカードの出力端子が合っているか確認